

令和4年度 第1回 交野市放課後児童会運営委員会部会 会議録

日 時	令和4年7月20日（水） 開会 午後7時00分 閉会 午後8時00分
場 所	青年の家 会議室
出席委員	田村会長、浦谷副会長、伊賀委員、橘岡委員、平田（秦）委員、有山委員、平田（裕）委員、鈴木委員、高野委員、毛利委員
事務局	本多生涯学習推進部次長、岡本課長代理、香川課長代理 中島係長、近田、井上
傍聴者	なし
案 件	(1)府内先例市視察に向けた整理について (2)その他
議事内容	<ul style="list-style-type: none">・協働事業の実現性や有効性の評価について・委員から項目追加要望・府内放課後児童クラブ設置状況
事務局	みなさんこんばんは。定刻となりましたので、ただ今から第1回交野市放課後児童会運営委員会部会を開催させていただきます。 委員の皆様には、公私ご多忙のところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。 まず始めに、田村部会長からご挨拶よろしくお願いたします。
会長	では議事に移る前に本日の委員の出席状況について事務局に報告を求めます。
事務局	本日の出席状況でございますが委員10名中8名の出席で交野市放課後児童会運営委員会会則第6条第2項より過半数を超えておりますので、本運営委員会が成立することをご報告いたします。

会長 はい。ありがとうございました。
本日の傍聴希望はありますでしょうか。

事務局 傍聴無しです。

会長 では次に本日のこの会議でございますが、交野市会議の公開に関する指針に基づき公開にしたいと思いますが、今日は傍聴希望はございませんのでこのまま運営委員会を続けたいと思います。
それでは次第にそって始めます。

案件1「府内先例市視察に向けた整理」についてを議題といたします。この案件は先日の運営委員会においても事務局より視察については部会の方で進めたいと提案があり、委員会でも承諾をいただいております。

ではどのような形で視察を進めていくのかを決めていきたいと思しますので事務局より説明をお願いします。

事務局

「協働事業の実現性や有効性の評価」についてについて
資料1-1のとおり説明
「委員から項目追加要望」について資料1-2のとおり説明

会長 はい、ありがとうございます。
それでは、項目の整理を行うにあたり、例えば、現在の項目を絞るなどの意見を言っていただくということですか。

事務局 資料にある項目は、行政としては最低限の必要と思われる部分を上げさせていただいていたというところでございます。

ここについては本当にいらぬというようなご意見であれば、もちろんいただければと思いますが、基本的には行政としては最低限この部分は必要だと考えたものです。

また、項目の追加について、事前にご意見いただいている部分もございますし、本日ここを追加したらどうかとかいう項目を入れて頂けたらと考えております。

会長 はい、わかりました。

それでは委員の皆様、この項目を追加の1の2の資料になりますけれども、前回昨年度の部会でも「子どもたちの思い」というようなところもかなり強く出ていたと思いますので、追加項目等の要望もあったということです。

何かご意見をいただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

委員 交野市の課題で指導員の雇用確保というのが大事なんですけど、指導員の先生の評価方法、たぶん会社というか民営先の評価方法と、保護者が感じる評価方法も全然違うし、例えば守口市だったら子どものために一生懸命頑張っておられたと思うんですけど。

それでちょっと企業にたてついたという評価で、一年後に雇用できなくて辞めさせられたという経緯もあったので、その点が企業としてはどうかと、あと市としての評価それに対して市の評価というのを付け加えて頂けたらなと思っています。よろしくお願いします。

会長 はい、ありがとうございます。評価方法という意見がありました。順番ではないですがご意見ををお願いします。

委員 委員からの意見提出について、これは全部追加される予定ですか。それとも今から検討して追加される予定ですか。

事務局 本日ご意見いただく中で整理がされていくものというふうに考えておりますので、今追加する、しないということも中立の形でありますので、ご意見いただけたらなと思っております。

委員 子どもの意見とか保護者の意見は入れた方が良くないかなと思いました。

委員 ありがとうございます。

委員 うまく説明できるか分からないんですけども、第4章の課題というところで民間委託、民間協働するということの理由、大きな理由が安定した指導員の先生の確保というところと児童会文化の継承というところの、この2つくらいは大きく上がっているのかと思います。

そういうところもあるんですが、こちらの課題が民間委託になって果たして本当に解決できるのかという観点が必要かと思っていますので、まず

最大の理由である人員の確保というところが民間委託してできなかった場合は意味がないかなと思いますので、まずこれができるかどうかというところを評価できる項目が欲しいかなと思っています。

私たち何度も言ってきたかと思いますが、頭数、人数が揃えばいいということではなく、児童会の先生方がコロコロ変わっていても一応人員を確保できていますでは困るわけですので、平均のそこに勤めていらっしゃる先生が何年連続の平均雇用年数と言いますか、勤めて何年位いてらっしゃるといのかという平均値というところが知りたいのと、その正規の正職と言われる方が何人くらいでアルバイトとかパートの方で、何人くらいでまかなってるところを知れたらいいかなと個人的には思います。

またこの児童会に核となる先生がいて欲しいというのが保護者の別の方の意見からも上がってますので、中心となる先生がアルバイトの先生で補うにしても、そこに中心となる先生がいて下さって、先生の指導のもと、変わっても安定的にできてるなというところがわかる評価が、どの項目に当たるのかは分からないんですけども、民間に委託しても先生方が安定していらっしゃるような、というところが証明できるというところがまずは必要ではないかと思っているのが一つ。

あとはサービスの維持向上というところで保護者の負担軽減という項目がございますけども、こちらがあれば嬉しいんですけども、まずは最大の課題であるところが解決しないと意味がないかなと思うので重点的には先生方の確保がきちんとできているかという項目をしっかりと上げていただいて、データでお示し頂けるような保護者の方にも説明ができるようにしていただきたいというところです。

これは意見になりますけれども、児童会の説明会にも参加させてもらって、少し意見をさせて頂いたんですけども、保護者の負担軽減というところとサービスの維持向上というところは必ずしも一致しないというふうに考えておりますので、これも説明会で申し上げましたけれども学習支援サービスに関しましては私個人としては、親としては嬉しいサービスだけれども、子ども目線からすると「行ったら勉強させられる」という観点になるとうちの子どもからすれば迷惑なサービスだというふうに言うておりますので、学童に行ってまで勉強したくない遊びたいという、子どものニーズと親のニーズは必ずしも一致しないという観点でどんどん考えて頂ければ、結局児童会の主体は子どもだと思っておりますので、親が嬉しいサービスを追求し続けると子どもにとってはどうなのかという観点も必要かなと思います。

同じように保護者会も同じかなと思いますし、おやつに関しても意見で安全面に配慮したというところのコメントもございますけれども、もちろんこれは大前提としてあるんですが、子どもが食べたいおやつと親が食べさせたいおやつはまた別かなと。

子どもは体に悪そうなおやつを好きだったりしますので、親が望むものばかり出して面白くない美味しくないってなるよりは、子どもが楽しく食べれているかというような、色々なことを美味しいと言って、楽しみとして捉えるかどうかというところの観点から評価をして頂けたらありがたいかなと思っております。

実現性、有効性という言葉も2つ以上にどうやって評価するのかというのがありまして、YES か NO では答えられないというのは意見があった部分と同じく考えております。客観的にどのように評価していくのかということも、みんなで考えることができればいいなというふうに思いました。

長くなりました、ありがとうございます。

会長

ありがとうございました。では次お願いします。

委員

評価の方法なんですけれども実現性、有効性ということで「はい」か「いいえ」の2択だと答えられないと思いますということ意見を言われておりましたけれども、当日現地に行って色々評価されるかと思うんですけれども、実際に現地に電話してせっかく現場を見れるすごく貴重な機会だと思います。

例えばここにあるいくつかの項目の中では、予めデータだとかチェックリストとか、データで予め質問するような形で聞き取りをして、評価を2段階に分けて、前もっての調査と、あとは当日現地に行った際に実際の先生とか子どもたちの生の声を聞くということと。

あとは個人的にとっても大切かなと思っているのはそこにいてる子どもたちが伸び伸び過ごさせていて色々な経過とかあるかと思うんですけれども、楽しく伸び伸び自己肯定感をいろいろ育まれているかどうかとか、そう言った子ども目線での評価っていうのも取り入れて頂けたらと親としては願っています。以上です。

会長

はい。ありがとうございます。

意見や質問等はなかったと思いますので続けてよろしいですか。

事務局 はい。

会長 お願いします。

委員 今回の質問でちょっと解りきってないんですけど、事業者をどう評価するかという話になってるみたいに思うんですけども、それは交野市が公募して、どこが応募するか分からない段階で相手进行评估しても仕方がないんじゃないかと思います。

だから逆に見るべきものは公立民営化だったら例えばどうかとか、民立民営だったら例えばどうかとか、いうことを見ていかないと、業者の評価を今の段階でするために行っても、そこが応募してくれなかったら何の意味もない。

逆に業者さんにとってみたら、それぞれ小規模なところだと思いますので自分らの能力、キャパシティで良いところは逆に受け入れられないというか応募してくれない、飛びついてくるところが逆にあんまり信用できないという感じがあると思いますんで、だからちょっと今の話の流れで、業者さんをどう評価するかっていうのはちょっとおかしいんじゃないかと聞いてて思いました。

この辺りがちょっと前回の話で決着済みなことだったら申し訳ないんですけど、今聞いている意見として思いました。

会長 はい。ありがとうございます。

今のは意見というか質問というか根本という気もするんですけども、事務局いかがでしょうか。

事務局 業者の評価というところを視点という形でもっているというよりも、委員がおっしゃられたように、こちらとして実現可能かどうかというところで民間協働をするのか、公立公営でいくのかとかいうところで、実現できないものを進めていくってというのはどうだろうかというところがありますので、そういった視点で、交野市が求めていくものをやっているところが実際にあるのか、ないのか、やっているところがあるのであれば一定実現可能な状態になるのではないかというようなところの視点において見ていきたいというところになりますので。

直接的に業者进行评估するというよりも交野市が求めていく内容について出来るのか、出来ないのか。

出来るにしてもこういったところに弱みがあるよねというところで

あれば、こちらとして、条件としてはこういう条件をつければ、そこは補えるのではないかとか、というようなところの部分を見ていきたいなというところが趣旨になってくるかと思imasので、そういったところでご理解頂けたらと思っております。

委員 分かりました。

会長 はい。ありがとうございます。

委員 私は事前に意見を提出していますのでこの項目を入れていただきたいということを求めます。

具体的に言いますけど、私自身も子どもが前で見えて今までどおりで子どもも喜んで行ってますんで学童保育へ、保護者としても安心できるということで今までどうりであってほしいという風な願いもあるし、そういうふうに求めたいと思うんですけども、今回視察をするというところで保護者としてはですね、市職員の圧縮原因これは民間保育にしたら市の職員減らせるみたいな、これはね評価できないという風に思っています。

はい、なので…それとですね今回例えばですね、全件一斉に民間委託した守口なんかもひっくり返ってる話もありましたけど、というところで有効性について良いのか、悪いのかって公平に判断できたらいいと思うんですけども、この評価がですね民間委託が絶対良いということで進めることはできないんじゃないかという風に思っています。以上です。

会長 はい。ありがとうございました。

委員 基本的には今いろんな意見が出ていたように、子どもの居場所として適切かどうかというところであったりとか保護者が安心して預けられるかというところに尽きると思うんですけども。

学校の方の立場で言いますと、コロナの時に実際に色々な活動を少し見せていただく機会があったんですが普段で言いますと、子どもを預ける場面でトラブルがあった時に連携がうまくいくような関係性が保てるのかということだったりとか、やはり時折留守家庭に行くのに帰ってしまっ行って行方が分かりにくいというときに、行政がすぐに動いていただいて、学校も動かしてもらったりとか、指導員さんもすぐに動くということで今のところ大きいトラブルはないのかなという風には認識して

いるんですけども。

そういった関係性のことであったりとか、それから実際に病気とかそうした要因を持ったお子さんの状態を引き継いだりとか、今すごく丁寧に受けていただいているケースもありますので、そうした業者さんの方が適切にそういうふうなところの連携をしていけるっていうのも、学校から見たら安心して子どもさんを預けられるとか引き継ぎができるというところも大事ななという風に感じています。以上です。

会長

ありがとうございました。

今一通り意見を行って頂いたんですけども、市からの評価の項目になかった子ども、保護者の視点というのは大事ななという風に思いました。

資料1の2に意見提出して頂いたところがあるかと思います。あと〇〇委員からもありましたけれども学校との連携は私もそのように思いますし、障がいのある子どもの受け入れ、これは交野はすごく分かって下さっているなという風に思いますので、その辺りが継続できるのかとか。

別の委員さんの方からありました業者を評価するのではなくて、子どもの意見や業者さんの意見とかお話を聞いて、交野としてどう取り組めるかという視点での視察だという、見学だということでもとまるのかなと思いますが、委員の皆さんその感じですか。その感じと言いますかよろしいでしょうか。

委員

あとすみません実効性、有効性これはこれで実現性、有効性についてはですね、これはYES、NOでは判断できない難しい問題かなと思いますけれども。以上です。

会長

はい。その辺りも何回も受けておりますので、その辺りはもし良かったらお答えいただけますか。

事務局

委員からありましたとおり、こちらとしても「はい」、「いいえ」のみで回答できるものではないし、評価できるものではないというところで考えております。

したがって、当初からそのような考えも持っていますので、もちろん「YES」、「NO」ではっきりする部分については、そのような項目の判断基準になるかと思うんですけども、「はい」が必ずしも良いもので

はないというところも評価の聞き方、見方も物によってはあるかと思えますので、そういったところを具体的にどうだったのかというところで評価していくべきかなと思いますので、そこについては委員がおっしゃるとおりかと思っています。

会長 はい。ありがとうございます。では他に。

委員 先程のおやつの話なんですけども、この衛生面、安全面に配慮した、これは当たり前なのでそれよりも子どもが満足しているか、楽しみにしているかそういう聞き方がいいかなと、私的には子ども連携ということでお願いしたいところです。

あと保護者会のところなんですけど保護者会は保護者が決めることであって運営会社が決めることでもなんでもないので、これはちょっと有無を聞くのはどうかなって、それよりもそういう委託先と保護者との関係、どういう風に児童会の子どもたちの様子を伝えているかとか、どういうふうに保護者と関係性を持っていろんな行事をしているとか、経費をどういう風に使っているかとか、決算書の開示とか、そういうこともしているのかとか、そういうところを聞きたいなと思いました。

あとは今こうやって、私たち保護者、市、先生方とか、指導員の先生方とか、こういう場を持たせていただいて、そういうことも継続して他の市もされているかどうか、民間委託になってもそういう話し合いの場っていうのを持ってくださるかどうかもお聞きしたいと思います。

会長 はい。今のは追加の意見提出ということになろうかと思えますので、その辺り入れていただくということでよろしいでしょうか。

他に項目としてのご意見はよろしいでしょうか。

委員 その他の入会児童、定員増員維持なんですけど、それだけではなくて、在籍した子たちの途中退会がどれくらいの数があるかという、そういうデータも提示していただけたら嬉しいなと思います。

会長 はい。ありがとうございます。他よろしいでしょうか。

委員 指導員さんの安定的な確保ということが課題に上がっているかと思うんですけども、移行時の指導員の継続雇用、変動性、変速性のとこ

ろです。

ここで業者さんに移行した後の何年勤めておられるか、指導員の方が働きやすい環境かどうかというところで勤続年数というところも評価に入れていただけると良いかなと思いました。以上です。

会長

はい。ありがとうございます。

細かいところをかなり言っていたので、そういうのはきちんと項目立てるというよりも補助説明みたいな感じで必ず載せて頂けたらなと思っています。

他は項目としてはよろしいでしょうか。

委員

意見は出させてもらったんですけど、今改めて思ったのが、この会は教育委員会の青少年育成課が事務局でやっていて教育に関することを話し合っていると理解しているんですね。

サービスとかイベントっていうのがちょっと違和感がちょっとどうしても拭えないんですよ、そこは今事務局の皆さんが行政としての提案という話はあったんですけども、どうしても教育委員会がずっとされてきた事業でサービスとイベント、運動会とかはイベントって言いませぬよね。

なのでもうちょっと教育的な言い方が何かないのかという風には思いました。

例えば…ちょっと思いつかないんですけど、すいません。これって行政的にはサービスとかイベントになるわけですかね。

事務局

放課後児童会では大体行事とか、そういう言い方をしているんですけどもね。

学校でも行事だと思いますね。

委員

イベントが行事。

事務局

そうですね。行事って言いますね。

委員

サービスは。

会長

はい。お願いします。

事務局

ここでのイベントの部分なんですけども、例えば指導員がやっていた

〇〇会と言われる部分でありますとか、例えば保護者会さんが〇〇会という形でやっておられた部分が、民間委託になった場合の業者の方が一緒になってイベントをやっていくなり、代わりにやっていきますよというようなお話も聞いている状況がございます。

なのでそういった部分でのサービスというところで、今までになかったイベントごとでありますとか、例えば体操教室みたいなことをやられている業者もおられるという風に聞いておりますので、色んな意味でのイベントという形で書かせていただいているのがこの項目ということになりますので、具体的にどのイベントという話ではなくて、行事であったり教室ごとみたいな部分を含めての記載というご理解でお願いします。

会長

はい。よろしいでしょうか。 はいどうぞ。

委員

仮に民間委託となった時に、色々なトラブルが生じた時というふうなことを想定した時に、その業者さんがきちんとした解決窓口を持っているかどうか、ここに相談をしてくださいよというような窓口が開いているかどうかというところと、その市も丸投げではないとずっと説明して下さっているとおり、交野市がどのようにそこに関与されていくのかどうか、民間の方がそのトラブルの解決窓口を持っているかということと、具体的にもし行った先でトラブルケースがあった時にはどのように解決されたかというシューティングができれば、事例があればこんな風に市が関与しました、とかいうことがあれば知りたいなと。

これは評価項目にするというところではないかとは思いますが、そもそも。そういったところですね、保護者の不安の中ではたらい回しになるんじゃないかなという意見はすでにたくさん上がってきているところかと思うので、それを仮に生じた時に、生じないのが一番良いんですけども何かしらあるのが実情だと思うので、そういった時に民間側がどのような対応されて、市側はどのように対応しましたよ、というようなことがわかるようなことだと、保護者側は安心するのではないかとこの風に思います。

まだ民間委託すると決まった訳ではないという風にご説明いただいておりますとおり、公設公営の良いところも必ずあるはずなので、そういったところをきっちり明らかにして、そういうふうにはできるかとか、お勧めしかできないところはなんだろうということも考えながら、真に民間委託が子どもたちのためになるのかどうかということ、みんなで

検討していけたら良いんじゃないかという風に、保護者としては思っておりますので、この辺のご配慮よろしくをお願いします。

会長 はい、ありがとうございました。他項目ありますか。

委員 指導員の雇用確保という点での項目なんですけど、年齢、勤続年数もなんですけど、それぞれの年齢、勤続年数と例えば全国の…全国かな、ちょっと最近勉強会に行けてなくて。

20代で勤めてても30代になるとお給料が年に200万もないくらいのお給料で生活できないから、30代だったらかなりの方が辞められる。

40代で続けてたら、40～50だったらそんなに変わらないとかね、そういうのもあるみたいなので。

例えば20代がいるから良いというわけではなくて、30代の方もいて、上の方が教えていってずっと変わらず子どもたちを見守っていただくその指導力、そういうのをしていただきたいので年齢も質問項目に入れていただけると良いかなと思います。

会長 はい、ありがとうございました。

かなり多岐に渡るご要望というかこういうところを知りたいという、当然のお願いだと思いますので。

他に項目であったり、意見についての意見はよろしいでしょうか。

会議の進め方として、「よろしいでしょうか」で次に行きましたらこちらの方に集中していただくということになりますので大丈夫ですか。

<異議なしの声>

はい。では次に、その視察先ということなんですけれども、まず事務局より説明をお願いします。

事務局 今いただいたご意見については、こちらの方でまとめさせていただきたいなと思っております。

また、いくつか上げていただいた中には項目の中に詳細という形で、載せさせていただく部分になるかなというご意見もあったので、そのような形でこちらでまとめていきたいなと思っております。

今、会長の方からありました視察先のお話なんですけども、資料1-

3をご覧いただけたらと思います。

1点前回の運営委員会の資料から訂正がございます。

13番の八尾市の部分なんですけれども、前回の資料では公立民営というところに丸が入っていたかと思いますが、公立公営というところで一部誤りがありましたのでここで訂正をさせていただきます。

前回このような資料を出させていただいて、実際ですね右側に委託業者名というところで具体的に、お調べしたものをらせていただいております。

どういったところがやっているのかというところを、目で見えていただけたらというところで、視察先の参考になるかなという部分。

また、公立公営でやっておられるところ、また、合わせてやっておられるところ、色々ございますのでそういったところで、ここは行った方がいいかなとか、ここは見に行きたいなというところで、実際に委員の皆様にも一緒に行っていただくこととなりますので、そういったところの視点で考えていただけたらなと思っておりますので。

一応ですね4つほど候補を上げていただきたいなというふうに考えております。

相手さんのあることなので、視察の受け入れができますよというところもあれば、ちょっと今難しいですというところもございます。

なのでまず4つほど優先順位つけていただいて、できればここを1番に希望しますとかいうところで出来れば一番ありがたいなと思っております。

そういった形で4つほどですね、まず候補に部会として上げていただいて、そちらの方に市として打診をさせていただきたいというふうに考えております。

それでどうしても無いというところでしたら、市の方でいくつか再度当たっていくと、受け入れが出来るところはないですか、ということでも当たっていくという形でさせていただけたらというふうに考えておりますので、まずは部会の方で4つほど候補をあげていただきたいなというところをお願いします。

会長

はい、ありがとうございます。

ですがこの表だけで4つ候補を選べというのは、かなり酷だなという気はしますが、ご意見ということですので先ほどの〇〇委員さんからのお話にもありましたが、この市というよりもこういう形態でやっておられるということになっちゃうのかなと。

あと相手があることということですので、当たっていただくしかないのかと、コロナがちょっと増えてきていますのでかなり厳しい状況かなとは思いますが。

はい、ご意見よろしく申し上げます。

ご意見がありましたらこの際ですので、言っていただいて後は事務局が当たるということですのでお願いします。

委員

一番私たちが望むものっていうのが、民間であれ公営であれ子どもたちが安心安全で健やかに育ち合う場であってほしいし、楽しく通ってほしいっていう意味も込めて、公設公営から公設民営になった、民間委託になったばかりのところに1つ聞かせていただきたいなっていうのもあります。

それで実際に行って子どもたちの雰囲気とか様子とか、実際に話を聞いて、指導員の先生もやりづらさだったりとか、いや大丈夫だよとか、こういうのをもっと民間委託する前に、こういう希望を出しとけば良かったとかそういうのをちょっと生の声を気聞けたらなと思っています。

ただその一つではなくて先ほども言ったように、子どもたちがより良くということがあるので。

公設から民営になったところっていうのが、ちょっと調べてきたんですけど…吹田市が直営のところもあるし民間委託もあるそうなんです。

そちらの方では結構直営のところも民間のところも同じように努力をというか、話し合いもされたりするのかな、そこがちょっと見に行きたいなっていうのが一つあります。

民間から直営に戻したところがあるんですけど、それが箕面市。箕面市の方もなぜ直営に戻ったか、聞いているところによると箕面市自身が検証されると水準維持ということもそうですし、指導員の確保、市の財源、それら全てを取っても直営の方が良いと判断されたんです。

どういうふうにして判断されたか、それでどういうふうに結論に至ったのか。そういうところも、もし聞ければなと思っています。

あと実は一番聞きたいのは東京都の文京区、それは行くのは無理なのでちょっと zoom とかで東京の文京区のところは、そこも直営もあるし民営のところもあるんですけど。

ただ直営の指導員の先生が正規の職員、だから市の職員と同じ扱いで、しかも朝から夕方までしっかりとフルに働いて、しっかりお給料もある。

その人たちがただそれで民間のところと公設のところと差がないよ

うに、すごくなんというんですかね、その区自体でみんなで良くしていきましようというので会議もすごくされていますし、区の指導員の先生がその民間のところに行って指導をされたりとか。

だから全ての児童が公平に見ていただける、そういう施策をとってはって、なのでそういうところっていうのはなかなか珍しいので、zoomでもいいので何かお話を聞けたら嬉しいなと思っています。

なので大体、吹田市、箕面市、あとプロポーザル方式になるってことになる、なった直後はさっきの児童会、文化の継承というのが出来るかもしれないんですけど、今度民間になってまた3年、5年後に、また次の新しい事業所が入って、民間になってそしたらその引き継ぎというのがなかなかできないと思うんです。

民間の会社も会社なので、会社経営が全部次のところにノウハウというわけがないので、そうするとどこまで継承されるのかなと、だから民から民になったところっていうのもちょっと興味があるところで、そういうところっていうのが東大阪市と堺市が該当するそうなので、そちらの方も。

ただ1つを選ぶことが出来なくて、いろんなパターンのものを私たちいつもね、去年から言ってる10年後、20年後なので、もしかしたら公設が良い民間が良い、民から民はどうなるのか、やはり全て私たち保護者としては、知りたいところではあります。こんな感じですか。

会長

東京都が出てきた時にはちょっとびっくりしましたが、今の時代ですので zoom という言葉も出てきました。

今は割ときちんと整理して言っていて、変わったところと戻ったところ、あるいは民営から民営への引き継ぎ、会社ですからノウハウをこうっていうお話もありました、非常に分かりやすかったです。

最後の民営から民営の引き継ぎ、東大阪と堺市ということです。他には。

委員

業者名見てると東大阪市なんか、ものすごく名前がローカルで、吹田市なんかローカルなところもいっぱい出て、見てるとPTAとか保護者会とか指導員の人らがNPO作ってやってるのかなというイメージ受けるんですけども。

同じ民間委託業者でも、プロフェッショナルという雰囲気じゃなくて、みんなでやりましようっていう雰囲気があるんですけど、その辺は実行部隊としてはそういう形態としては名前を見ているとわりとそ

うなんですけど、その辺りの実態はどうでしょうか。

会長 事務局お願いします。もし情報がある限りで。

事務局 ○○委員からご質問があった、東大阪市は児童会の数も多いということもありまして、全地域でやっておられていて、NPO 法人を作られてやっている児童会もありますし。

それから先ほど○○委員も言っておられた、民間から民間というところもありますし、色んな形態があるところがございます。

従いまして今回の場合につきましては、地域の法人さんではなく東大阪市さんにつきましては、民間から民間になったところをちょっと詳しく見れたらと思います。

堺市さんにつきましても地域でやっているところもありますし、公益財団法人、それから純粋な株式会社というところもあります。

ここも堺市は大きな町でございます、旧の三原町とかも合併して一層その児童会数、またそれを受託しているところも色んな法人さん、民間さんが入っておりますので、この辺りも堺市さんの方と連絡を取ってどういうところを視察するのが一番良いのかなというところがございます。

吹田市さんにつきましても、社会福祉法人さんここは吹田市は一つ一つの児童会を民間活力を入れていっているというところでして、その児童会ごとに委託会社が違うかなというところで、幼稚園、保育園系を経営しているところもあれば、株式会社ということで児童会運営を、今すごい全国的に展開している会社もありますし、それから NPO ということで多分こう地元の保護者の集まりが NPO 化したところで非常にここも多くの種類の受託者を抱えているところがございます。

○○委員から提案のあった自治体は見てみたいな視察したいなと、豊富な形の形態を持ったところだなと思っています。

それから最後に東京都文京区は今放課後児童会の中では、おそらく最も輝いていると聞いているところですので、全て察知されているんだなと改めて感心して聞いていたところがございますけれども。

ちょっと文京区の方はまだ私も連絡は取ったことはないんですけども、他色々なところは連絡は取らせていただいていますので、出来たら視察も進めていけたらなと思います。以上でございます。

会長 ありがとうございます。他はご意見ありますでしょうか。はい、お

願います。

委員

運営委員会でも多分この話出たと思って、色々なところ見に行かなあかんよって言う委員さん言ったと思うんで、公設公営、公設民営、民設民営も一個ずつ色々なところを見に行ったら良いのかなと思っています。

今言われた箕面もそういう実態があるなら是非とも箕面っていうのを希望したいなと思っていますし。

輝いているっていうのはそれは是非、輝いているところ（文京区）を見てみたいと思っています。行きますよ、なんでしたら。

事務局

予算もあるので…。

委員

予算も…そうですか。

あとね例えば熊取とか有名ですよ、そんなことないですか。

友人が熊取に住んでいて、すごく充実している話も聞くんですけども。

逆に僕も熊取で学童保育指導員してた人いるからどうなんかなって聞こうとしたらもう辞めてたっていうふうなところもあるので、候補の一つとして上げていただければ、熊取かなというふうに思いました。以上です。

会長

はい、ありがとうございます。

今運営方法と市の方が4つずつくらいは出ているので、なるべく形の違うところを是非事務局の方では、設定していただけたらなというふうには思っております。見学先を4つほどというお話でしたので、今の意見でよろしいでしょうか。

私の方からは最後、委員さんが言われてたように、行ってからの評価ではなくて、事前に何かデータであるとか、そういうのが分かっているものがあればそれも一つ準備していただければ、事前にいただけたらというご意見もありましたので、行って子どもたちあるいは指導員さん、経営の方々のお話を聞く以外のデータ的なことはお願いしたいなと、可能な限りということで、お願いしたいなというふうに思っています。

ということで時間も…はい、願います。

委員

公営1つ、公設民営1つずつというのは、なかなか分かりにくいので、やっぱり同じ公営なら公営で比較出来るような方が良いでしょう。

だから限定して3つとか4つとか言わずに、ある程度ここ見たら分かるかもってというのは、これは事務局で選定して頂いたらと思いますので。

数にとらわれず出来るだけ近場をうまく回るような形で、選定をお願いしたいと思います。

会長

はい、ご意見ありがとうございました。他…、はいどうぞ。

委員

私も先ほど委員がおっしゃられたように数にとらわれずに、いくつもの所を比較検討できるような情報をいただいて、それを保護者の皆さんに開示と言いますか、できるようなデータの蓄積が必要ではないかなと。

少し時間はかかってしまうかもしれませんが、結局はそれが保護者の安心に繋がるのではないかなというふうに思っています。

公設公営でも物凄い上手くいっている所と、そうでないところがあるはずですし、民間でもめっちゃくちゃ大成功というところもあれば、民間でいまいちというところもピンからキリまでだと思いますので。

民間の良いところばかり見に行くと、民間は素晴らしいというようにならないように、また同じく公設の良いところばかり見に行って公設素晴らしいと、一辺倒にならないように満遍なく公平な目で見れるようなデータを示して、その上でそれを検証していただきたいなというふうに思っております。以上です。

会長

はい、ありがとうございます。他ご意見よろしいでしょうか。

はい、どうもありがとうございました。

では案件1の府内先例市視察に向けた整理についてというのは終わらせていただきます。

次に2のその他ですが何かありますでしょうか。

<異議なしの声>

事務局

今日いただいた項目のあらゆる話、細かいところだとか、また子どもの意見等だとかは、意見を整理させていただきまして、また皆様にご報告させていただきたいと思っております。

それから次に二つ目の視察先ですが、具体的な視察先で委員から数に

とられることはないんじゃないかというご意見もありますので。

こちらの方は視察先の相手もありますので、これも視察先に連絡させていただいて、具体的な日時を決めさせていただいてまた、ご報告をさせていただいて出来るだけ早い、皆様のご予定もありますので、出来るだけ早め早めのご報告をさせていただいて、視察に行けたらというところでございます。以上でございます。

会長

はい、ありがとうございました。

では視察となりますと子どもがいる時間ということですので、なかなか全員がみんなというのは難しいとは思いますが、今日出ました意見を汲んでいただいて、予定を立てていただくということでお願いいたします。

では以上で第一回放課後児童会運営委員会の部会を終了します。